

## 魅力ある地域づくりに関する特別委員会 管内調査

令和3年11月19日（金曜日）

### 1 宇治市役所〔於：お茶と宇治のまち歴史公園（茶づな）〕（宇治市）

【調査事項】宇治市の新たな情報発信施設「茶づな」について

#### 【調査目的】

宇治の魅力を伝える情報発信施設として新設されたお茶と宇治のまち歴史公園（茶づな）の取組について調査し、本府における地域振興に係る施策の参考とする。

#### 【調査内容】

お茶と宇治のまち歴史公園は、宇治の魅力を伝える情報発信の場として、宇治市によって新たに整備された施設である。コロナ禍の影響で一般利用の開始が延期になっていたが、令和3年10月から全面の一般利用が始まった。

PFI事業として、宇治市は、当該施設の設計・建設・維持管理・運営に関して、株式会社宇治まちづくり創生ネットワークに一括して委託している。整備に係る費用は、国土交通省や文化庁、京都府の助成を受けている。

面積は約2.5ヘクタールあり、国史跡「宇治川太閤堤跡」を保存・活用する「史跡ゾーン」と、宇治の歴史・文化や宇治茶の魅力を発信する「お茶と宇治のまち交流館『茶づな』」が整備された「交流ゾーン」から構成される。「茶づな」には、宇治茶の魅力や宇治の歴史を紹介するミュージアムの展示や、石臼抹茶づくりなど宇治茶にまつわる体験プログラムが用意されており、宇治の魅力への理解促進と、宇治のまち全体への周遊観光の促進を目指している。

「お茶の京都」で山城地域が一つに繋がるよう、歴史公園を広域観光のゲートウェイにしていきたいとのことだった。

#### 【主な質問事項】

- ・体験プログラムの内容について
- ・情報発信の掲示板「宇治まちさんぽ」について
- ・宇治川太閤堤跡の保存について など



調査事項を聴取



「茶づな」の展示を視察

## 2 南山城村役場〔於：南山城村文化会館〕（南山城村）

【調査事項】 移住・定住促進の取組について

【調査目的】

同村の移住・定住促進の取組について調査し、本府における移住・定住に係る施策の参考とする。

【調査内容】

同村は、出生率の低迷や、都市部への人口流出による人口減少の課題を抱えており、生産年齢人口の減少は、村の主産業である茶業にも深刻な打撃となっている。

村を存続させるため、平成22年度から移住・定住を促進する施策を積極的に推進している。例えば、U・Iターン者を対象に、住宅取得や住宅賃借に奨励金を交付する「田舎暮らし定住促進奨励金」制度により移住を支援しているところである。

しかしながら、現実的には賃貸可能な空き家が極めて少なく、移住に繋がられない問題があったため、その解消策として、平成28年度からは移住・定住推進員の配置や空き家バンクの制度化、移住・定住交流拠点の整備に取り組み、空き家の確保と移住希望者とのマッチングの効率化を図っている。

また、令和元年度には「田舎暮らし定住促進奨励金」の対象を拡充し、子育て世帯であれば村内転居でも対象とすることで、転出の抑制を図っている。

さらに、老朽化ですぐに住めない空き家の改修を補助することで、成約増に繋げる取組も推進している。平成29年度からは京都府の移住促進特別区域に指定されたことで、補助額は府と村で2分の1ずつ負担する仕組みとなっている。

今後も、各種施策を展開して移住・定住の促進を図っていききたいとのことであった。

【主な質問事項】

- ・ 移住交流推進員について
- ・ 近隣の市町村との連携について
- ・ 空き家バンク契約アドバイザーについて など



調査事項を聴取

### 3 株式会社南山城〔於：南山城村文化会館〕（南山城村）

【調査事項】道の駅による地域の活性化について

【調査目的】

「道の駅お茶の京都みなみやましろ村」を拠点に、農産物の商品化、販路拡大等を進める同社の取組を調査し、本府における地域活性化の施策の参考とする。

【調査内容】

「道の駅お茶の京都みなみやましろ村」は、南山城村の「魅力ある村づくり」の拠点として整備・計画され、平成 29 年にオープンした。同社が道の駅の指定管理を受託している。

南山城村で生産されるお茶は、「宇治茶」として一まとめにされた名称で流通されることが多かったところ、同社は「村茶（むらちゃ）」と名付け、ブランディングを進めている。「村抹茶ソフトクリーム」に代表されるように、お茶の産地であるからこそ実現できる、上質茶をふんだんに使用したオリジナル商品を開発することにより、市場に左右されない価値の創出を目指している。現在、年間約 40 万人が道の駅のレジを通過しており、コロナ禍にも関わらず売上を伸ばしているこのことだった。

同社は、地域の農産物の商品化、販路拡大等で従来以上の価値を引き出し、そこで得られた知見や収益を生産者に還元していく「地域商社」として、南山城村の六次化モデルをつくることに注力している。「村で暮らす」ということを改めて見つめ直し、「村で暮らし続ける」ことの実現に寄与していきたいとのことだった。

【主な質問事項】

- ・ 地域での雇用創出について
- ・ 南山城村の直売所について
- ・ 村茶（むらちゃ）の普及について など



調査事項を聴取